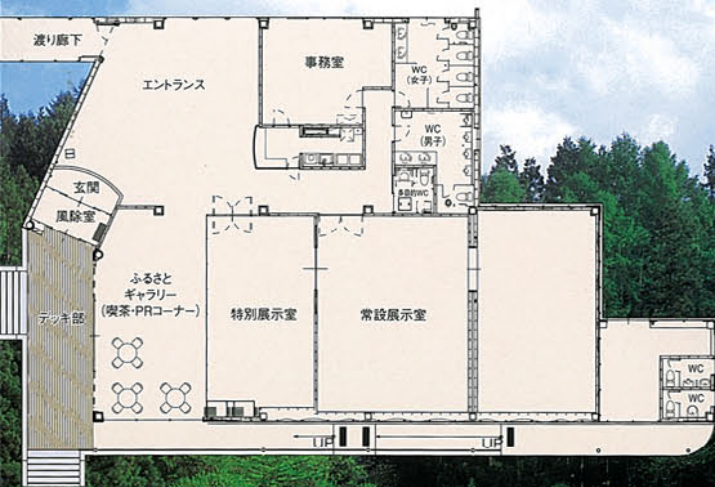


私たちは、郷土が生んだ偉人西澤権一郎氏が長年居住し、執務した長野県知事公舎を、ここふるさと小川の地に移築復元し、県政の資料とともに氏の功績を長く後世に伝えていきます。

また、小川の風土の中で歴史を築いてきた、先人の足跡に思いを馳せ、先人の知恵や工夫が込められた資料の収集・展示に努めて参ります。そして、近代化や都市化の中で、とかく見失いがちなふるさと小川の誇りと郷土への愛情を多くの皆様に伝えていきたいと考えています。

どうぞ、北アルプスの雄大な眺めと四季折々の自然の造形美を味わいながらゆっくりお過ごしください。



アクセス INFORMATION

車《東京方面》

上信越自動車道長野IC・長野自動車道安曇野IC・R147・高瀬川右岸道路・大町市・県道長野大町線・小川村

JR《東京方面》

北陸新幹線長野駅下車・川中島バス高府・初引行高府下車

《名古屋・大阪方面》

篠ノ井線・中央西線長野駅下車・川中島バス高府・初引行高府下車

利用のご案内

開館時間 通年 9:30～16:30(入館は閉館の1時間前まで)

休館日

毎週火曜日(祝日にあたるときは水曜日)と祝日の翌日
12月28日～1月4日

※展示資料の入れ替え等により臨時に休館する場合があります。

入館料 (団体は小学生以上の有料入館者15名以上)

	一般	団体
大人(15歳以上)	300円	250円
小人(小中学生)	200円	100円
幼児	無料	
友の会々員(同伴者1名様)	100円	

駐車場 普通車約20台(大型2台)

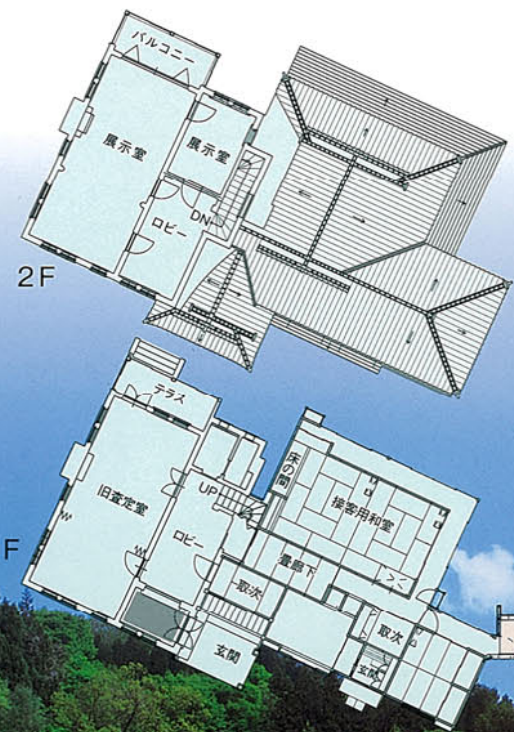
●お問い合わせ

小川村郷土歴史館 ふるさとらんど小川 (小川村教育委員会内)

〒381-3302 長野県上水内郡小川村高府 9307
TEL 026-269-3146 FAX 026-269-2127
URL <http://www.vill.ogawa.nagano.jp/>
E-mail rekisikan@vill.ogawa.nagano.jp

ふるさとらんど小川

小川村郷土歴史館



旧長野県知事公舎

西澤権一郎元知事をはじめ、歴代知事の写真、愛用品を中心に展示しています。
80年間県政を見つめ、重要施策決定の場となった旧査定室や県知事公舎から移植した庭木、庭石で築かれた中庭を望む和室で大正ロマンと昭和の趣を味わってください。



旧査定室 1F



接客用和室



西澤権一郎氏石膏像は長野市県民文化会館前広場にある銅像の原型です。時を経て、ふるさと小川の地で、今なお県政の行方を見つめ続けています



二階展示室

洋館の外壁は平瓦の上に漆喰を塗り重ねた特殊な技法が使われていて、1階テラスで見ることができます。



西澤権一郎氏



小川村の歴史・ふれあい

常設展示室は、小川の歴史を紹介するコーナーです。

主なテーマと展示品

「小川のあけぼの」(化石、土器・石器)、「小川庄と大日方家」(大日方家伝来の武具など)、「藩政と口留番所」(高札・古文書)、「長野五輪、パラリンピックの聖火トーチ、メダル」



縄文式土器



大日方家の甲冑



常設展示場

ふるさとギャラリーと企画展示室の間には移動式間仕切りが設けられていてフレキシブルな対応が可能です。個展や企画展、ミニコン

サートなどにご利用いただけます。(要予約) 屋外デッキと前庭広場は、ステージと観客席に早変わり。屋外ライブ、各種イベントでお楽しみいただけます。



ふるさとギャラリー



鯨のひげと化石

西澤権一郎氏 略年譜

- 明治39年12月 南小川村小根山に父伊與治母すがの一人息子として生まれる
- 大正2年4月 南小川尋常高等小根山分教場入学
- 10年4月 西部農学校(現中条高等学校)入学
- 13年4月 東京高等蚕糸学校入学
- 昭和2年4月 千葉県立旭農学校教諭、20歳
- 8年10月 高等試験行政科合格、26歳
- 10年1月 水井幸子と結婚、28歳
- 12月 長野県農林主事、29歳
- 11年3月 長男與志英誕生、29歳
- 16年1月 長野県拓務課長兼農政課長就任、34歳
- 3月 長女洋子誕生
- 17年7月 長水地方事務所長就任、35歳
- 20年7月 岡山県勤務、8月 県動員課長就任、38歳
- 21年7月 内閣事務官に任ぜられ戦災復興院勤務
- 22年3月 長野県民生部長、40歳
- 4月 林虎雄氏が初代民選知事
- 23年4月 次男高志誕生、41歳
- 25年4月 長野県総務部長就任、43歳
- 30年9月 長野県副知事就任、48歳 財政再建に取り組み林県政とともに高い評価
- 34年4月 県知事選挙で初当選、52歳 分県論議、県庁移転運動など南北信の対立続く
- 38年4月 86万票を得て県知事に再選、56歳
- 40年5月 県庁新庁舎起工式が行われる
- 41年 県花・県木・県獣・県鳥を指定
- 42年2月 地上10階地下2階の新庁舎竣工
- 4月 知事選3選、県旗を制定する、60歳
- 43年 「信濃の国」を県歌に指定
- 44年10月 日米知事会議出席のため渡米 同国ミズリー州と国際親善
- 46年4月 知事選4選、64歳
- 47年7月 関東地方知事会長となる
- 49年8月 日ソ知事会議出席のため訪ソ
- 50年4月 知事選5選、68歳 全国知事会副会長に就任
- 52年6月 中央自動車道建設推進委員会発足 委員長となる
- 53年 やまびこ国体開催
- 54年4月 知事選6選、72歳
- 7月 県立文化会館建設案決定
- 10月 日米知事会議出席のため渡米
- 55年4月 千曲川に自ら鮭の稚魚を放流 高血圧症のため入院
- 9月 県知事を退任
- 55年10月 小川村名誉村民に推挙される
- 12月 急性心不全のため逝去、享年74歳、同日付で従三位に叙せられ一等瑞宝章を受章
- 56年1月 長野市民会館で県民葬挙行
- 2月 小川村公民館で村民葬挙行
- 58年3月 長野市若里に顕彰像建立される

富永一朗漫画廊



富永一朗氏



大正14年京都に生まれる。母の里、会津田島で育ち、父の里、大分、佐伯で小学、中学を終え、台南師範学校(台湾)を卒業。佐伯で4年の教員生活を経て26年上京、33年杉浦幸雄氏に師事して今日に至る。昭和61年 日本漫画家協会大賞 平成4年 紫綬褒章 平成10年 旭日小授章



ユーモアあふれる独特のタッチで人気の富永一朗先生の色エンピツ画32点を、本村在住の土谷和子氏(和手)のご尽力と富永先生のご厚意により寄贈していただきました。全国8箇所にある富永一朗美術館ともども富永ワールドをご堪能ください。



富永一朗漫画館・漫画廊

塙町(福島) 南砺市(富山) 東村(群馬) 道志村(山梨) 伊豆市(静岡) 亀山市(三重) 高梁市(岡山) 佐伯町(大分) 所蔵 世田谷区・別府市・城川町(愛媛)

エントランスホール

喫茶のみご利用の方の入館料は不要です。

喫茶で使用している陶器類は本村の陶芸家北田耕治さんひぐらし窯北田よしのさんかぜの窯陶房の作品です。深いコーヒーの香りとともに小川村の四季を彩る写真や村の紹介DVDをお楽しみください。

